

令和3年度 改善状況報告書

組織名	大学教育委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和 3年 4月	学士課程及び大学院課程における三つのポリシーの公開情報の更新	大学教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学の三つのポリシーの改訂 ・大学院学位プログラム概要(3ポリシー等を含む)の改訂 ・大学ホームページ公開情報の更新 	教務課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和3年度機関別認証評価の受審にあたって、各学部(主専攻プログラム)・各研究科(専攻・コース)の三つのポリシーの記載内容に合わせて新潟大学の三つのポリシーを改訂、また大学院学位プログラム概要(3ポリシー等を含む)を改訂し、大学ホームページ公開情報を更新した。
令和 3年 4月	数理・データサイエンス教育の推進	大学教育委員会教務専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省が公募する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に申請し、認定を受ける。 ・令和4年度の数理・データサイエンス導入科目を必修化する。 ・携帯型パソコン必携化に伴い、携帯型パソコン設定相談室を設置し、学生からの相談に対応する。 ・数値解析ソフト MATLAB を導入する。 	教育・学生支援機構 コモンリテラシーセンター数理データサイエンス部門	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	文部科学省が公募する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に申請し、認定された。 令和4年度から、全ての学部において数理・データサイエンス導入科目を必修化することになった。 学生からの携帯型パソコン設定に関する相談に対応した。 令和3年8月に、数値解析ソフト MATLAB を導入し、全学の教職員・学生による利用を開始した。
令和 3年 6月	学内無線 LAN アクセスポイントの増設、講義室内個別電源コンセント設置	新型コロナウイルス感染症、携帯型パソコン必携化	新型コロナウイルス感染防止の観点から、対面授業及び非対面授業が混在すること及び令和3年度新入生から携帯型パソコンの必携化に伴い、学内無線 LAN アクセスポイントの増設及び講義室内の電源コンセントが必要になる。	教育・学生支援機構	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和3年度の授業実施にあたり、学内無線 LAN アクセスポイントについて、各講義室の収容定員の3割の人数が同時アクセスできるよう増設した。また、電源コンセントについても、各講義室に設置した。

<p>令和3年8月</p>	<p>「オンライン授業における学生の学修等に関する実態調査」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業における学生の学修等の実態を明らかにする。特に、オンライン授業における学生の学びが、コロナ感染症拡大前の通常の対面授業のそれとどのように異なっているか／異なっていないかを明らかにする。 ・上記の結果を踏まえて、新潟大学のオンライン授業改善のための示唆を得る。 	<p>教務専門委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学部生を対象にアンケート調査を実施する。 ・調査結果について集計・分析する。 ・全学FDにおいて報告し、学内に周知する。 	<p>教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>全学部生を対象にアンケート調査を実施した。</p> <p>調査結果について集計・分析した。令和4年3月9日開催の全学FDにおいて報告し、学内に周知した。</p>
<p>令和3年9月</p>	<p>NBASの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の利用率の低さ ・システムの機能、利便性の見直し(カリキュラム変更への対応など) ・各学部における利用率を高めるために、現状や機能等についての全学的な議論が必要である。 	<p>大学教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NBASの活用に関して最も効果的なのは、各学部のカリキュラムにおいて、アセスメントシステムを活用した履修指導を組み込むことである。また、これを学位プログラム評価に活用することで、評価のためのデータ収集を効率的に実施することも可能となる。そのため、各学部のカリキュラムにおいて、NBASの利活用を再検討いただくことが優先事項となる。 ・その上で、新しい教育プログラムの観点から必要な機能を再定義した上で、NBASのバージョンアップ(リプレイス)を進める。 ・全学教育DX化の推進と学習者本位実現のためのシステム運用をあわせて実行する。 	<p>教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>現行の学務情報システムをベースに履修登録時(学生自身が学修を設計する時)に利用可能な統合システムを構築した。具体的の実装する機能は、現NBASでも比較利用されているアセスメント機能(学修の振り返りに使用)を移管した。</p> <p>今後、新しい教育プログラムの観点から、成績評価の可視化、単位取得状況と成績評価点数に応じたレベル表示)、さらに、より発展的な機能として履修科目リコメンド、学修履歴・成績・進捗状況の記録・確認(高校調査書から卒業後評価まで)、卒業生の記録参照(教学IRによる分析結果の提示)、オンライン・コラボレーション等により、個々の学生の問題意識にあった学修者本位の学びを実現するよう、NBASのバージョンアップ(リプレイス)を進める。</p>

令和3年10月	シラバス作成に関するガイドラインの改正 ・全ての学部・研究科における全ての授業科目のシラバスが記載に漏れがなく、十分に具体的な計画を学生に明示するものとなるように、点検の手順等を含めて見直しを行う。	大学教育委員会	・シラバス作成ガイドラインにおいて、1.シラバス作成の目的、2.シラバスの作成(点検・修正を含む)スケジュール、3.シラバス点検の実施体制と内容、を追加し、シラバスの記載漏れがないよう、点検手順等を明確にするため、改正を行う。 ・シラバス作成ガイドライン説明会を開催し、学内への周知を図る。	教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	シラバス作成ガイドラインを改訂し、学内教職員を対象に説明会を開催した。
令和3年10月	成績評価に対する不服申し立て制度に関する要項等の改正 ・成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていると言えるためには、会議体など第三者の目で審査している場合が考えられるが、疑義照会では学生と教員の間だけでやり取りがなされ、完結するところから、組織としての対応とはなっていない。	教務専門委員会	・「Gコード科目に係る成績評価に対する不服申し立て等に関する要項」を一部改正し、疑義照会を教員ではなく教育プログラム支援センター長に行う。 ・各学部等における「成績評価に対する不服申し立て制度に関する要項等」についても同様の手順の改正を依頼し、年度内に改正する。	教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	「Gコード科目に係る成績評価に対する不服申し立て等に関する要項」を改正し、各学部等における「成績評価に対する不服申し立て制度に関する要項等」についても年度内に同様の手順の改正を依頼した。
令和3年12月	英語教育におけるe-learning教材の活用 ・多様化する学生の学習ニーズに対応できる教材として、また令和2年度から導入された英語新カリキュラムにより即した活用法を考えたいという声があがったことから、本学の実施体制、学修環境の整備状況等を総合的に勘案し、学生にとって有効な英語教育法を検討する必要がある。	教務専門委員会	・新しい英語 e-learning 教材「スーパー英語 Academic Express 3」を導入し、早い段階から e-learning 教材の活用を学生に促す。 ・e-learning 教材の活用法として、第2学期のクラス分け資料、「アカデミック英語入門R」の成績に一定程度反映、iStep や EAP 英語などで2年次以降も学修を続けた学生に、「TOEFL ミニテスト」の2回目、3回目を受験させ、新潟大学の英語新カリキュラムの教育効果を検証などの活用法を検討する。 ・e-learning 教材の導入にあたり、教職員を対象に利用説明会を開催する。	教育・学生支援機構 コモンリテラシーセンター言語教育部門	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	多様化する学生の学習ニーズに対応できる教材として、また令和2年度から導入された英語新カリキュラムにより即した活用法が考えられる新しい英語 e-learning 教材を「スーパー英語 Academic Express 3」導入することとし、教職員を対象に利用説明会を開催した。

<p>令和 4年 2月</p>	<p>Gコード科目の精選 ・「教養教育」の体系性が十分に担保されていない。 ・管理運営上の問題として、約1500の科目数が適切であるか（供給過剰ではないか？似たような科目が開講されていないか？受講人数が少なすぎる科目を開講することが適切か？教員のエフォートを軽減できないか？時間割上の問題が生じているのではないか？等）</p>	<p>教務専門委員会 部会代表者・委員会議</p>	<p>教養教育の体系性は、メジャー・マイナー制としての教育課程整備の中で確保する。具体的には、ディシプリンベースの専門科目からなるパッケージ型マイナーの提供を進める。 また、現行の開設科目について、受講者数を調べ、履修者数の少ない科目については、その理由を明らかにする。 メジャー・マイナー制における教養教育という観点から、部会代表者・委員会議（各部会）において検討する。</p>	<p>教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>現行の開講科目の体系性を確認するため、55種類ある分野ごとに科目数を調べた。Gコード科目では開講されていない分野もあったが、メジャー・マイナー制においては教養教育に資するため他学部の専門科目の履修も促すことから、専門科目を含めた全体の科目数も調べた。そこでは、すべての分野において一定の開講科目数があり、現状で特段支障のないことを確認した。 なお、各分野の開講科目数が適切であるかについては、当該専門分野に関わる学位プログラム単位との協議を通して明確にする。 一方、受講者数が少ない授業科目について、その理由について調査を実施した。明確な理由のない一部の科目については、その必要性について引き続き検討する。</p>
<p>令和 4年 2月</p>	<p>「輝け未来！！新潟大学入学応援奨学金」の制度の見直しが必要である</p>	<p>大学教育委員会学生支援専門委員会</p>	<p>独立行政法人日本学生支援機構が実施する新たに創設された奨学金制度を踏まえて、「輝け未来！！新潟大学入学応援奨学金」の給付目的、給付額、給付対象人数等を見直す。</p>	<p>大学教育委員会 学生支援専門委員会</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>本奨学金のこれまでの給付実績、受給学生へのアンケート結果、同等の奨学金制度がある他大学の状況、並びに、同専門委員会でのこれまでの検討内容を総合的に審議した結果、給付額（40万円）及び募集人員（50名）は現行制度を継続することとし、令和5年度募集時から、これまで総合型・学校推薦型選抜の募集（10名程度）と一般選抜（前期日程）の募集（40名程度）とに分けていた募集を統合し一括募集することとし、奨学生の採用人数が50人に満たない場合は、再募集を行う取扱いを新たに導入することで、受験生からの申請の機会を増やすことの改善を図ることとした。</p>

令和4年3月	<p>ポストコロナの遠隔授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナの遠隔授業を継続するため、遠隔授業実施の定義等を定めた要項を制定し、遠隔授業の累積修得単位数等について検討する。 	<p>大学教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナのオンライン授業を継続するため、遠隔授業の定義等を定めた要項を策定する。 ・授業形態の学生への提示について、シラバスにおいて提示する。 ・個々の学生ごとに遠隔授業科目の累積修得単位数を集計できるよう、学務情報システムの改修を行う。 	<p>教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>ポストコロナのオンライン授業を継続するため、遠隔授業の定義等を定めた要項を制定した。 授業形態の学生への提示について、シラバスにおいて提示した。 今後、個々の学生ごとに遠隔授業の累積修得単位数を集計できるよう、学務情報システムの改修を行う。</p>
令和4年3月	<p>メジャー・マイナー制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の副専攻プログラム(オナーズ型マイナー)について担当教員の自助努力と責任感に依拠するところが大きく、属人的であり大学組織としてのマイナー学修(多様な学び)の永続性が担保できていない。 ・学生はCAP制等の教育の実質化という制度面から履修科目数が制限されている。加えて、主専攻プログラム修了を重視した履修指導が行われている現状もある。 ・学生が主体的かつ積極的にマイナーを履修するに十分な学修支援体制ではない。 ・主専攻プログラムの履修要件やカリキュラム、時間割構成を含めた全学的視野での議論が必要である。 	<p>知識集約型社会を支える人材育成事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メジャー・マイナー制を本格的に導入し、教育プログラムの体系化と学習者本位の学びを実現する。 ・本学の有する多様な専門領域を基盤として、全学に向けた「マイナー学修パッケージ」を提供することで、主専攻(メジャー)を学びながら、他分野を副専攻(マイナー)として学ぶプログラムを構築する。 → 主専攻+副専攻ではなく、1つの教育プログラム内にメジャーとマイナーの学修を含める。 ・全学部向けの分野横断を支援する授業科目を開設し、アカデミックコーディネーターにより指導を進めることで、学生一人一人の問題意識にあった分野横断型の学びを創生する、きめ細かな学修支援体制を整備する。 ・Gコード科目および各主専攻プログラムの専門科目を用いてマイナー学修を構成することにより、属人性を排し、マイナー学修の永続性を担保する。 	<p>教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター</p>	<p><input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>令和2年度に知識集約型社会を支える人材育成事業に応募・採択され、本格的なメジャー・マイナー制へと舵を切った。ここでいうマイナーとは卒業要件単位数(多くの学士課程は124単位)の中で、主専攻とは異なる分野の科目群から学生自身が体系的な学びを構成し、12単位以上を取得するものである。この教育プログラムは令和3年度から開始している。学生自身によるマイナー学修の構築が主眼であることから、事業経費によりアカデミックアドバイザー(履修指導のための教員)を配置し学生が利用できるマイナー学修の支援室を整備した。 令和3年7月には副専攻プログラム(オナーズ型マイナー)の継続に関する意向について調査を行った。また、各学部・全学組織に専門領域をベースとしたマイナーの提供について検討を依頼し、令和4年度はパッケージ型マイナーでは新規23、継続5、オナーズ型マイナーでは、継続14の開設となった。 引き続き、学内委員会において分野横断学修のプログラムの提供体制や履修指導について議論し、事業の全体設計の改善を図る。</p>

令和 4年 3月	語学教育担当教員の減少	教育・学生支援機構コモン リテラシーセンター	教育・学生支援機構コモンリテラシー センターと学系が協議し、全学教育の 運営をも視野に入れた人事を進める必 要がある。	教育・学生支援機構 コモンリテラシーセ ンター	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
----------------	-------------	---------------------------	--	-------------------------------	---	--

組織名	大学改革・大学評価委員会
-----	--------------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
平成 30年 3月	学位プログラム評価制度の点検・評価と改善	大学改革・大学評価委員会、「新潟大学における「学位プログラム評価」の基本枠組み」	「新潟大学における「学位プログラム評価」の基本枠組み」の「6. 制度の見直し」に従い、総合点検の実施翌年度以降、制度のあり方について、適宜見直しを行う。	大学改革・大学評価委員会 教育戦略統括室	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (今後検討予定)	令和3年10月に第1回目となる総合点検が完了した一方、11月より教育担当理事のもとで、本学の「学位プログラム」の概念を整理する検討が進められていることから、本整理が完了次第、第1回の総合点検と新たな学位プログラムの概念を踏まえた見直しを行う予定。
令和 3年 1月	大学院改革の推進	大学改革・大学評価委員会	令和4年度以降の大学院将来ビジョンの策定及び大学院改革を更に推進する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	「大学院改革推進室」を設置し、本学の大学院への進学者の増加、有為人材の輩出、研究力の向上等を図るため、本学の大学院における教育プログラムの改善、教育課程の再編及び社会ニーズ等を踏まえた新たな教育プログラムの開設等に関する具体的方策を策定している。また、大学院の教育プログラム評価の実施にあたり、大学院改革に資するものとなるよう、令和3年12月から翌3月にかけて、大学院における教育課程や学修成果の状況・課題などに関する「大学院改革のための教育プログラム実態調査」を行った。

令和3年3月	第4期中期目標期間に係る国立大学法人評価制度への対応	大学改革・大学評価委員会	第4期中期目標期間に係る国立大学法人評価制度が決定次第、「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」の改正等、内部質保証体制の見直しを検討する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	第4期中期目標期間に係る国立大学法人評価制度が決定されたことを受け、「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」の改正等の検討を進めている。
令和3年8月	自然科学研究科において、令和元年度の入学定員充足率（入学定員に対する実入学者の割合）の過去4年間の平均が、大幅に不足している（0.7倍未満）。	現況分析結果（教育）	その主な原因を博士課程への理解不足とキャリアパスへの不安と分析し、以下の取組を実施する。 ・外部の就活・進学サポート機関とも連携したキャリアガイダンスの実施と、文部科学省の事業を活用したキャリアパス形成支援（令和3年度より）の実施 ・他の研究科と連携したプログラムを開設に加え、文理融合プログラム、ライフサイエンスに係るプログラムの開設を予定するなど、学生や社会にとって魅力あるプログラムの開設 ・学生による学生のための「学術研究の推進・進路開拓」を考える学生組織の整備を計画 ・JICA の研修員受入事業及び文部科学省のプログラムを活用した留学生受入の拡大、ダイバーシティを拡大するための特任助手任用事業の開始	自然科学研究科、大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和3年10月	一部の研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。	大学機関別認証評価における訪問調査時の指摘事項 （「大学機関別認証評価評価結果」にも記載される予定）				
令和3年8月	現代社会文化研究科、自然科学研究科、保健学研究科において、令和元年度までの過去4年間の「標準修業年限×1.5」年内修了率が、相当程度低い（博士前期課程 85%未満、博士後期課程 70%未満）。	現況分析結果（教育）	標準修業年限内に修了できるよう、研究進捗の定期的な把握と指導、修士論文や博士論文の作成に資する全学及び研究科独自の研究費支援または学会発表参加支援等を行う。	該当する研究科、大学教育委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	

令和3年8月	施設及び設備、学生支援、学生の受入に関して行う自己点検・評価におけるそれぞれの評価項目と手順が明確でない。また、自己点検・評価結果を踏まえた対応措置(改善)を検討、立案、提案に至るプロセスが不明である。	大学評価基準に基づく総合点検	令和3年度中に、各委員会等において、自己点検・評価における評価項目と手順(対応措置の検討、立案、提案のプロセスを含む)を明文化する。	施設環境委員会、 大学教育委員会、 附属図書館委員会、 情報基盤センター、 国際交流委員会、 保健管理センター、 入学試験委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和3年12月に「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」を改正し、各委員会等において、自己点検・評価における評価項目と手順(対応措置の検討、立案、提案のプロセスを含む)を明文化した。
令和3年8月	内部質保証体制において点検に必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する仕組みについて明文化されていない。	大学評価基準に基づく総合点検	令和3年度中に、「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」を改正し、明文化する。	大学改革・大学評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和3年12月に「新潟大学内部質保証及び自己点検・評価実施要項」を改正し、内部質保証体制において点検に必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する仕組みについて明文化した。

組織名	国際交流委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
平成 27年 4月	学生の海外渡航時における安全・危機管理に関する全学的な体制整備が必要である。	監事監査意見	学生向けの海外渡航に係る安全管理教育を行い（H28年度から学生向け海外渡航前安全管理オリエンテーション開始済）、海外渡航情報の届け出及び海外旅行保険の加入について徹底する（H28年度から学研災付帯海外留学保険「付帯海学」導入済）とともに、海外において事件・事故等が発生した際の危機管理体制を整備する（H30年6月～危機管理サービスを導入済）。	留学交流推進課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下における特例的な派遣留学に係る指針を策定し、派遣実施に係る学内手続や感染が確認された場合の対応フロー等を作成した。</p> <p>引き続き、コロナ禍及びコロナ後における海外渡航に係る危機管理体制整備について検討する。</p>
平成 29年 4月	留学生の就職支援体制が整備されていない。	外国人留学生からの意見	留学生向けに特化したキャリア支援体制を構築する。	留学センター キャリア・就職支援 オフィス 留学交流推進課 キャリア支援課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>一般財団法人留学生支援ネットワークが運営する「留学生就職支援ネットワーク」に加盟し、日本で就職を希望する留学生向けに情報提供を行った。</p> <p>また、就職支援講座として「国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーション」の授業科目を開設、授業の一部を公開して「留学生就職準備セミナー」として実施した。</p> <p>引き続き、「大学の国際化促進フォーラム形成支援事業」への参画等を含め、留学生へのキャリア支援体制整備について検討する。</p>

令和 2年 4月	研究室で受入れる留学生の入居支援 (民間アパート探しや入居に伴う手 続き等)が負担になっている。	留学生受入れ教員及び留學 生受入れ部局担当係からの 意見	外国人留学生に対する宿舎支援業務 を外部委託する。	留学交流推進課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	留学生借上宿舎を廃止し、宿舎支援の 対象を新規入学の全ての留学生に拡 大した上で、各種サービスを含め業務 を外部委託した。
令和 2年 4月	留学生のメンタルヘルスケア体制が 整備されていない。	留学生受入れ教員及び留學 生受入れ部局担当係からの 意見 留学生からの相談	留学生向けに特化したメンタルヘル スケア体制を構築する。	留学センター 保健管理センター 留学交流推進課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス 感染症の感染拡大によって、不安や 孤独を感じている留学生に対し、電話 による留学生向け相談窓口を開設し、 多言語に対応して相談を受け付けた。 今後、日本語を解さない留学生担当の カウンセラー配置等含め、メンタルヘ ルスケア体制の構築について検討す る。

組織名	入学試験委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和3年1月	新学習指導要領に対応した入学試験の策定に関し、高等学校の現状を踏まえて検討してほしい。	高等学校からの意見	高大接続改革を考える会や高校訪問等で情報を収集し、令和7年度入試に向けた検討の一助としたうえで、本学の基本方針を策定する。	経営戦略本部教育戦略統括室高大接続推進部門 入学試験委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>R3年10月に入学試験委員会のもとに、令和7年度入試について検討する入試検討専門委員会を設置し、各委員に対して、本学の方針案の策定について検討を依頼した。</p> <p>R4年2月に高大接続改革を考える会（高等学校教諭11人参加）で、「情報」等新学習指導要領に関する各高等学校の対応状況を聴取し、意見交換を行った。</p>

組織名	施設環境委員会
-----	---------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和 2年 5月	部局の所有面積における部局間の不均衡	令和2年度内部統制システムの整備に関する計画	戦略的な施設マネジメントの推進を図るため、部局の所有面積における部局間の不均衡を是正し全学的な観点での施設マネジメントを実施するための制度を構築する。	施設管理部施設管理課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	専門委員会での検討、部局との意見交換等を行い、部局面積の不均衡を是正するためのスペースチャージ制度の導入及び全学共用スペースの全学的な運用を行う等のスペースマネジメント制度が承認され、R4年4月1日より運用を開始する。
令和 2年 7月	構内に外部から侵入する不審者への問題。	不審者事案の報告	学内利用者の安全確保のため、キャンパスへ外部から侵入した不審者に対する防犯カメラ・注意喚起看板の設置及び外灯の増設など防犯対策を策定した。予算を勘案の上、対策を実施する。	施設管理部施設整備課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	R2年度の設置に引き続き、五十嵐地区キャンパスモールの外灯増設や主要な出入口への防犯カメラ設置を実施した。
令和 2年 12月	講義室等の感染症に対する換気設備の有無・能力	リモート授業から対面式授業への移行及び入試対応のため、講義室等の換気設備の現地調査	新型コロナウイルス感染症の制御が可能となる換気量の換気設備設置または換気設備の増設を計画的に実施する。	施設管理部施設整備課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	附属学校教室及び学部ゼミ室等(計201室)の換気設備改修(新設及び増設)工事を実施した。

組織名	附属図書館委員会／学術情報部／学術情報管理課
-----	------------------------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和2年11月	オープンアクセス方針の検討体制を整備する	役員ミーティング	役員ミーティング(2020年11月9日開催)において、令和3年度中を目途にオープンアクセス方針を策定することが決定された。 方針原案の策定のため、附属図書館委員会において、検討体制の審議を行う。	附属図書館委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	附属図書館委員会(2021年3月9日開催)において、オープンアクセス方針検討ワーキングの設置を審議し承認された。 令和3年4月にワーキングの開催準備を完了した。(第1回は5月14日に開催)
令和3年2月	新潟大学学術リポジトリの公開プラットフォームである JAIRO Cloud のシステム更新に伴い、先行移行に協力する	国立情報学研究所学術基盤推進部からの依頼	以下の各作業に対応するとともに、学内関係者及びリポジトリ利用者へ適切な情報提供を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 2021年2月下旬 データ更新停止 2021年3月中旬 移行環境確認 2021年3月24日 新環境で利用開始 	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	2021年3月24日より、現在の「新潟大学学術リポジトリ」と同じURLで利用可能となった。 https://niigata-u.repo.nii.ac.jp/ 利用再開以降、動作検証及び国立情報学研究所へのプログラム調整を依頼し、令和3年11月より論文データの新規登録を再開した。
令和3年4月	新潟大学学術リポジトリにおける『新潟大学学報』の公開による個人情報漏えいについて、経緯及び対応を報告する	事件・事故シート(2021年3月31日に総務部総務課総務係に提出)	令和3年度末に発生した『新潟大学学報』の公開による個人情報の漏えいについて、経緯及び対応をとりまとめた「事件・事故シート」に基づき、学長及び文部科学省に報告する。また、学内への注意喚起として全学連絡調整会議に概要を報告する。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下のとおり報告を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 2021年4月23日 牛木学長 2021年5月21日 文部科学省 2021年5月21日 全学連絡調整会議 なお、『新潟大学学報』は、事案発生直後(令和3年2月)に公開を停止している。

令和3年5月	オープンアクセス方針原案を策定し、全学会議での承認を得る	附属図書館委員会	附属図書館委員会下に設置承認された「オープンアクセス方針検討ワーキング」で原案を策定し、附属図書館委員会案として審議・承認後、全学会議（大学研究委員会、教育研究評議会）に附議し、承認を得る。	附属図書館委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下の会議で審議を行い承認された。 ・2021年10月29日 附属図書館委員会 ・2021年11月26日 大学研究委員会 ・2021年12月24日 教育研究評議会
令和3年5月	オープンアクセス方針原案の策定に伴い、新潟大学学術リポジトリ運用指針の改定を行う	附属図書館委員会	オープンアクセス方針原案の検討と並行して「新潟大学学術リポジトリ運用指針」の改定案を作成し、附属図書館委員会に附議し、承認を得る。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下の会議で審議を行い承認された。 ・2021年10月29日 附属図書館委員会
令和3年5月	非対面型授業の支援のため、授業で使用する電子ブックを拡充する	附属図書館委員会	「非対面型授業」を支援するため、教員に電子ブックの購入リクエストを募る。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	2021年5～7月、2021年11～2022年1月の各期間にリクエストを募り、合計94タイトルの電子ブックを購入した。
令和3年5月	電子ジャーナルパッケージ“Wiley、Cambridge University Press”の2022年包括契約再開と費用分担の検討を行う	電子ジャーナル検討専門委員会	電子ジャーナル検討専門委員会において、Wiley、Cambridge University Pressの2022年包括契約再開の決定と費用分担案を策定し、その結果を役員会に報告する。	電子ジャーナル検討専門委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下の会議等で審議・報告を行い承認された。 ・2021年5月28日 電子ジャーナル検討専門委員会（審議） ・2021年8月2日、20日 役員ミーティング（審議） ・2021年9月8日 役員会（報告）
令和3年7月	図書資料の管理のため、研究用貸出図書の蔵書点検を行う	全学連絡調整会議	令和2年度点検での現物不明分の再点検の点検依頼を行う。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和3年11月に令和2年度分の再点検を終了した。 これをもって、第3期中期目標・中期計画期間中に予定された点検を完了した。

令和 3年 7月	電子ジャーナルパッケージ “Springer”の包括契約再開を含め、 全学経費で契約すべき電子ジャーナル類の検討を行うべく、学術情報基盤機構長名にて学内照会を実施する	役員ミーティング	「全学で包括契約すべき電子ジャーナル、データベース、ソフトウェアについて」(2021年7月19日役員ミーティング承認)を学内各部局に照会・集計し、執行部検討用資料として整理する。	学術情報部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下のとおり照会・集計等を行った。 ・2021年8月2日 部局長宛てに照会 ・2021年10月11日 集計結果を担当理事に報告、追加調査実施 ・2021年1月29日 役員ミーティングに報告・意見伺い ・役員ミーティングでの意見に基づき、執行部検討用資料として整理中
令和 3年 9月	書架の安定運用を図るため、不用資料の判断基準を作成する	附属図書館委員会	『「新潟大学の図書の不用決定に関する要項(平成29年3月2日学術情報基盤機構附属図書館長裁定)」第3条第2項で不用とする資料の判断基準(案)』を策定し、附属図書館委員会に附議し、承認を得る。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	以下の会議で審議を行い承認された。 ・2021年9月29日 附属図書館委員会

組織名	附属図書館委員会／学術情報部／学術情報サービス課
-----	--------------------------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和2年11月	コロナ禍におけるラーニング・commons等を活用した学習支援について	第3期中期計画【16】	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、学習会話、ラーニング・commonsのグループ学習室を閉鎖していたが、2020年11月から1名での発話を伴う学習目的に限り、グループ学習室の利用を再開している。 2021年度も対応を継続している。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	図書館 HP「新型コロナウイルス感染症対策期間中のグループ学習室の利用について(11/4～)」 http://www.lib.niigata-u.ac.jp/news/20201028.html
令和2年12月	附属図書館旭町分館の学習環境の改善について	<ul style="list-style-type: none"> 旭町分館アンケート調査(2015年) 学生生活実態調査報告書(平成30年度)における自由記述「大学に対する意見・要望について」 	学習環境の改善のため、令和3年度施設整備事業に旭町分館改修を申請し、令和2年度施設整備実施計画予定事業(令和2年度第三次補正予算(第3号))に採択された。	附属図書館旭町分館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度国立大学法人等施設整備事業実施計画協議予定事業<補正予算(第3号)> https://www.mext.go.jp/content/000087771.pdf 令和4年4月リニューアルオープン
令和3年4月	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、対面による図書館学習サポーターの学習相談ができない	<ul style="list-style-type: none"> 【学生の皆さんへ】新型コロナウイルスの感染状況に対応した授業実施方針(2020年4月6日大学Webサイトに掲載) 【学生の皆さんへ】令和3年度第2学期の授業実施について(2021年8月10日大学Webサイトに掲載) 	今年度4月から、学生からZoom相談予約フォームで図書館学習サポーターへの学習相談の予約を受け付け、Zoomやメールによる学習相談を実施した。(2022年1月28日 今年度終了)	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	第1学期 相談件数32件 第2学期 相談件数17件

令和4年2月	学内で教育・研究等に関わっている利用者(名誉教授・非常勤講師以外のフェロー等)は、附属図書館利用規程に明記されていないため相互利用を利用できない	附属図書館利用規程第2条及び第15条	第2条 利用者の範囲について、新潟大学の職員(第2条第1号)及び学生(第2条第2号)以外で、本学において教育研究活動を行う者についての条文を追加する。 第15条 相互利用の対象に、前述の利用者を含めるため、条文を修正する。	附属図書館	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和4年2月21日第61回附属図書館委員会において附属図書館利用規程第2条及び第15条の改正について承認済み
--------	--	--------------------	--	-------	--	--

組織名	情報基盤センター
-----	----------

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	進捗状況	具体的な進捗・改善状況 (根拠資料名でもよいが、その場合は根拠資料も合わせて提出すること。)
年月	内容	根拠 (資料等)				
令和2年4月	新型コロナウイルス感染症の国内での流行を受けて、本学では、在宅でも授業を行えるよう Zoom を導入した。活用方法について学生・教員へのサポートが必要。	情報基盤センター運営委員会	WEB 授業のツールとして Zoom が導入された。利用上の注意、新潟大学固有の情報などのサポートを情報基盤センターの e-Learning サイトを活用して展開する。	情報基盤センター運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	2020 年 4 月より情報基盤センターの e-Learning サイトに、「Zoom 利用ピアサポート」サイトを開設し、学内有志の協力を得て Zoom の利活用に関するピアサポートを開始した。これまで多くの学生・教職員から質問が寄せられている。
令和2年4月	本学では Microsoft365 A3 包括契約を結んでいる。Office デスクトップアプリだけではなく、Teams 等のオンラインアプリも利用できるはずであるが、今のところ提供していない。新型コロナウイルス感染症の国内での流行を受けて、在宅業務を行うためにも、これらの利用を許可したい。	情報基盤センター会議	Office365 オンラインアプリのうち最低限開放してもらいたいアプリ・サービスを情報基盤センターから、新潟大学 CSIRT に要望し、クラウドサービスの特例としてもらえるよう働きかける。	情報基盤センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	新大 CSIRT から Office365 の一部および G Suite の一部を「大学がユーザ管理をする特定クラウドサービス」であることから、新型コロナウイルス感染症の特例措置として利用を許可いただいた。特例期間後も継続して利用できるようポリシー等の変更を要望する。
令和2年4月	利用者も増えてきたことから、イメージを扱うに長けた Adobe のソフトウェア群を大学として包括契約してもらいたい。(Adobe C.C. ETLA)	情報基盤センター運営委員会	2021 年度予算を確保し、役員会承認を得たのち、契約手続きを行う。2022 年 1 月利用開始予定。	情報基盤センター運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	2021 年 7 月 14 日開催の第 513 回役員会にて承認。仕様策定後、入札を行い 2022 年 1 月 11 日 ETLA 契約を締結。2022 年 1 月 20 日より利用を開始した。
令和2年8月	学内プライベートクラウド基盤システムで基本構成として割当てられる能力(メモリ、ディスク、ネットワーク)が少なく、OS もサポートの切れた古いものしか提供されていない。	情報基盤センター会議	2022 年 3 月に更新される新プライベートクラウド基盤で、リソース割当ての増強や最新 OS のサポート等を更新仕様に盛込む。	情報基盤センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	2022 年 3 月に更新される新プライベートクラウド基盤の仕様書に、CPU 性能の向上、割当可能なメモリやディスク容量の増強や最新 OS への更新が仕様に盛り込まれた。

<p>令和 2年 12月</p>	<p>クラウドバイデフォルトの時代に、 本学の情報セキュリティポリシー及びクラウドサービスガイドラインは厳格すぎる。セキュリティと利便性のバランスしたガイドラインに改正すべき。</p>	<p>情報セキュリティ・個人情報保護委員会</p>	<p>新大 CSIRT から新たな「データセンター・クラウドサービス利用ガイドライン」及び「情報セキュリティポリシー」を策定してもらい、情報セキュリティ・個人情報保護委員会で承認いただく。</p>	<p>新大 CSIRT</p>	<p> <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	<p>2021年3月11日開催の情報セキュリティ・個人情報保護委員会で、Google Workspace for Education (学生・教職員・児童・生徒・教諭対象)、Microsoft365 (学生・教職員対象)、を特定クラウドサービスとして機密性の高い情報を扱えるクラウドサービスとして、「データセンター・クラウドサービス利用ガイドライン」及び「情報セキュリティポリシー」に明記した。</p>
--------------------------	--	---------------------------	--	-----------------	--	---